

2025年度日本認知症ケア学会・認知症ケア賞 実践ケア賞



増 川 信 行（ますかわ のぶゆき）

埼玉県認知症ケア専門士会
ところざわ地域ケアの会
特定非営利活動法人麦畑 代表理事
地域密着型通所介護 デイサービス琴平 管理者

【授賞理由】

増川氏は、所沢市内における介護職の学びと交流の場「ところざわ地域ケアの会」ならびに「埼玉県認知症ケア専門士会」を設立し、地域における介護の質の向上と専門職の育成に寄与してきました。さらに、団塊の世代が多く受講している市民大学や高齢者大学で認知症の正しい理解と脳の健康を守ることの重要性を伝えることや、さまざまな研修会での講師やご家族からの相談対応など、その活動は多岐にわたり、地域社会に貢献してきました。これらの活動は、認知症ケア賞（実践ケア賞）の受賞に相応しいといえます。

【略歴】

1982年 4月～2010年 9月	手打ちそば一茶庵
2010年10月～2025年 2月	NPO法人麦畑
2025年 3月～	NPO法人麦畑 デイサービス琴平

【活動内容等】

活動目的：

市内各地域の包括支援センターからの依頼で地域を回った際に、認知症への理解とケアの大切さが地域の住民に浸透してないと実感したことを契機に、わかりやすく伝えることを心がけています。2025年を前に、団塊の世代が多く受講している市民大学ならびに高齢者大学で、認知症の正しい理解と脳の健康を守ることの重要性を伝えてきました。活動が評価され、年間50回を超える教室や講座で講師を務めています。

また、私が管理者を務めるデイサービス琴平では、認知症高齢者の生活習慣を整えるために、早稲田大学人間科学部教授、加瀬裕子先生と事例の共有を図り、多くの専門職の方と研究に取り組んできました。

その他、外部の講師活動として、毎月開催の「脳健康教室」3か所、年間2,500人以上の一般市民受講の講座、介護ヘルパー事業所・居宅介護事業所・特別養護老人ホームの職員研修会、埼玉県のケアマネジャーのスキルアップ研修会へ出向き、幅広く活動してきました。

活動の特徴：

デイサービスでの認知症高齢者への在宅生活維持のために行う日常生活の修正，特に栄養改善が認知障害の改善につながることを説明するようにしています。「誤診だらけの認知症」の著者である座間清医師のクリニックで，ご家族からの相談を受けています。シルバー人材センターの会員の教室，病院集会所の教室，所沢市が運営する「老人憩いの家」で4か所8回の教室を行っています。脳の健康を崩すには個人差があり，弱ってきた脳の各部位について判断し，その部位に刺激と血流を促進することで，栄養・酸素・温度が安定して部位の機能が働き出すことをお伝えしています。①人とのつながり力，②水分補給・呼吸，③食事・排せつ，④睡眠，⑤運動，生活習慣を整えることが脳の健康状態の改善につながることを分かりやすくお伝えしています。

活動の効果・影響：

教室・講座においてアンケート調査を行い，800人を超える参加者から認知症について感じていること，認知障害のある方との関わり方や対応の仕方などについてコメントをいただいています。また，「脳の健康」についての講演をうけて，早稲田大学人間科学部の内田和宏講師とともに認知障害のある方との関係性づくりや地域社会が果たすべき役割について，多くの専門職に発信しています。その他，所沢市医師会で所沢市や近隣の市町村の認知症高齢者に対して行っている取り組みについて，ロイヤル心の里病院の井川真理子院長とともにシンポジウムに登壇しました。昨年9月の所沢市広報において，「認知症にそなえる」のテーマで，活動についての特集記事が掲載されました。

今後の活動予定：

これまでの実績を大切に，より多くの世代の皆さんに「認知症」や「脳の健康」についてお伝えしていきたいと強く考えています。また，これらができる専門職の育成が重要です。そのために「埼玉県認知症ケア専門士会」を立ち上げました。当会には多くの専門職や認知症に関心のある方が登録・参加しています。このメンバーを育てていくこともこれからの活動のひとつです。

また，「認知症ケア専門士」をとおして，団塊の世代に正しい情報を伝えていくことも大切であると考えますが，現状ではその力が社会において発揮されているとは思えません。以前のように「認知症相談会」を各地域で開催することも必要です。団塊の世代はインターネットを使い，情報ももっているため，この世代の認知障害は今までとは異なります。「認知症ケア専門士」は研さんをもっと積んで，団塊の世代の認知障害のケアに向き合うことが重要です。

私自身は，変化する認知症ケアを現場での実践でより深め，多くの専門職（そのなかには研究者が必要だと考えます）とともに認知症ケアに向き合ってまいります。特に高齢者の食事の重要性，栄養やビタミン，ミネラルの役割など，アメリカの研究も踏まえて取り組んでいきます。